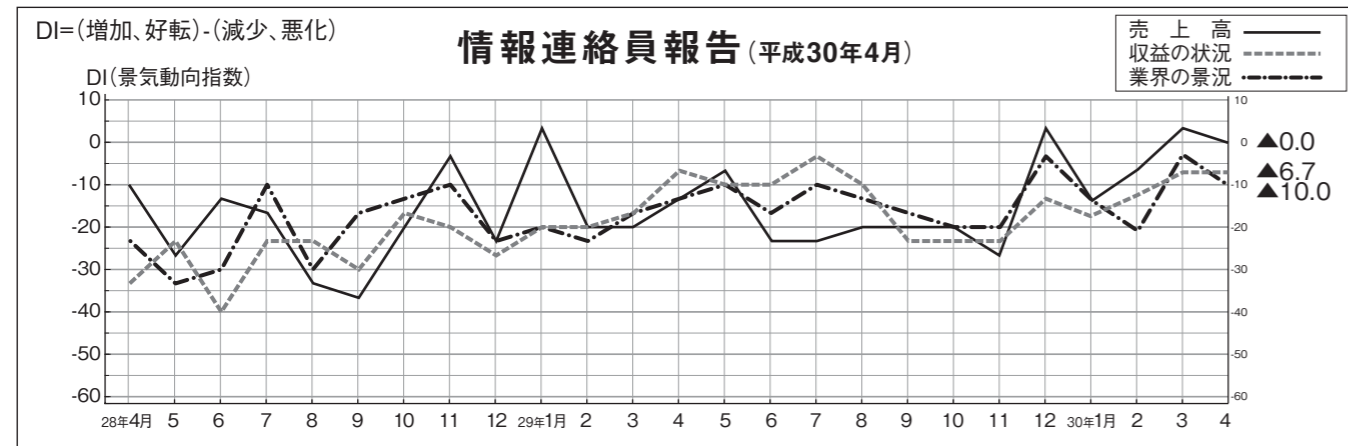


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2018年4月(前年同月比)



業界の状況 ...好転 ...やや好転 ...不変 ...やや悪化 ...悪化

食品団地
GW用商品についての発注が多く、月末にかけての売上増加が見受けられた。パートタイマー及び工場作業員の雇用に厳しさが多く、人員確保が難しくなっている。

生コンクリート製造
当月出荷量は前年同月比114%であったが、地域差が大きい。

酒類製造
昨年の数字は確保できたが、数ヶ月間の減少をみると憂慮するものがある。そんな中、「新酒の会」の盛り上がりは心強い限りである。

コンクリート製品
出荷数量は前年同月比125%。市況は、一時的に回復している。

テントシート
昨年9～11月の台風被害修繕作業も概ね完了し、通常年度の環境に戻った感がある。組合員一社廃業したとことの影響もあり、各社売上が上昇したとも考えられる。

機械団地
組合員企業における昨年度の総売上高は、一部企業の好調な業績により、過去最高となった前年度に次いで高い数値となっている。団地内景況に特に変化は見られない。

木製品素材生産
スギ、ヒノキ共に搬入量は横ばい。価格についてもともに横ばい状況。

刃物製造
相変わらず、受注に対し供給に苦慮している。受注はあるものの、供給が追いつかず困っているのが現状。この状態はしばらく続くと思われる。

製材
大型製材の需要があり、小規模製材の原木が不足気味。設備の老朽化、後継者の問題もありながら現状維持の状態である。

船舶製造
引き続き高い操業度で推移している。

製紙
県内家庭紙メーカーは、付加価値商品が主流となっており、大手との直接競合はない為、出荷量は割合安定している。原材料、運賃等の高騰により採算面は悪化傾向にある。

珊瑚装飾品製造
4月の製品会取引高は、前年同月比156%。取引高は今回増額しているが、一過性のもので景気の低迷は続いている。

印刷
県内需要は官公需及び民需共に若干低調。県外需要は業種によって好調。全体でもまずまずに推移。県内外全体的に見ると昨対微減と思われる。

卸団地
観光客が増え、ホテルの稼働率は好調のようだが、飲食業界はあまり好転していない様子。アルコール類抜きで食事する観光客や、夜の町に繰り出す観光客が少なくなったという話を聞く。

青果卸売
野菜は、入荷量6%アップに対して、平均キロ単価20%弱下落。果実は、入荷量10%ダウンに対して、平均キロ単価1%マイナス。5～6月にかけての苦戦が予想される。

商店街(四万十市)
全体的に前年度とほぼ同等と思われる。2018年は、前関白一條教房公が中村に下向して以来550年を迎えたことから、通年で「土佐の小京都中村550年祭」と題して様々なイベントが計画されており、商店街に誘客するための仕掛けを検討したい。

生鮮魚介卸売
マグロ、小物は、入荷量が減少気味で、カツオの入荷は少し増えてきているように思われる。組合員の減少により買高も減少している。

旅館・ホテル
昨春に比べ観光客の動きは鈍く、特定日に集中していた。年度初めの4月は例年稼働率は低いが、本年度はスポーツの大会があり、稼働、売上げには成果が見られた。街中の飲食店増加に伴い、宴会部門の売上げが若干落ちている。

各種小売(土佐市)
小売店は、悪くもなく良くもなく、変わりは見られない。

飲食店
前月比業務用ビール類値上りの為、アルコールを提供する店舗では収益状況が悪化。GW前半の日以外は集客が少ない。前年度比前月比同様、アルコールを提供する店舗では収益状況が悪化。前年に比べて集客が少なく売上高が減少、業界の景況はやや悪化した。

ガソリンスタンド
原油騰勢に歯止めはかからず、3年5ヶ月ぶりの高値をつけ、元売り仕切り価格は値上りとなった。全国平均ガソリン市況は、値上げ転嫁の遅れでマージンは低下しており、早急に転嫁が必要。高知県の市況は変動なく推移している。

旅行業
組合クーポン売上前年同月対比92%、全旅クーポンを加味して112%。依然として組合クーポンの売上が減少傾向である。

電気機械器具小売
前年比 ほぼ100% 好調な商品はエアコン、冷蔵庫など。前年比で厳しいのはテレビで、約72%。

一般土木建築工事
平成30年4月分の公共土木生コン出荷量は、前月比71.9%、前年同月比91.0%。工事請負金額は前年同月比で129.4%、平成30年4月末時点の前年対比請負金額は、国:183.4%、高知県:99.0%、市町村:100.5%。

中古自動車小売
変化なく推移している。

電気工事
組合員の施工する電力引込線関連の29年度工事量が確定し、前年度比104.2%であった。

商店街(安芸市)
物価の上昇により、販売価格にも少し影響が出ており、安値で販売しているスーパーや量販店には太刀打ちできない。

一般貨物自動車運送
組合事業は前年と比べてほぼ横ばいとなったが、燃料価格が高騰しており、組合員企業の経営を圧迫している。新年度に入ってもドライバー不足等問題は山積している。

商店街(高知市)
中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比105.7% 台数:前年比104.2%。外国客船が過去最高の9隻入港し、延べ約2万人の乗船客、乗船員で賑わいをみせたが、欧米系及び日本人の観光客が中心で、物販売上げは今の状況。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:100.4%、輸送回数:98.3%。当月の実働率は69.5%。

あなたの挑戦のそばに 三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー **GK**

立ちどまらない保険。 MS&AD 三井住友海上 www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Stripes logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.